

新富町 議会だより

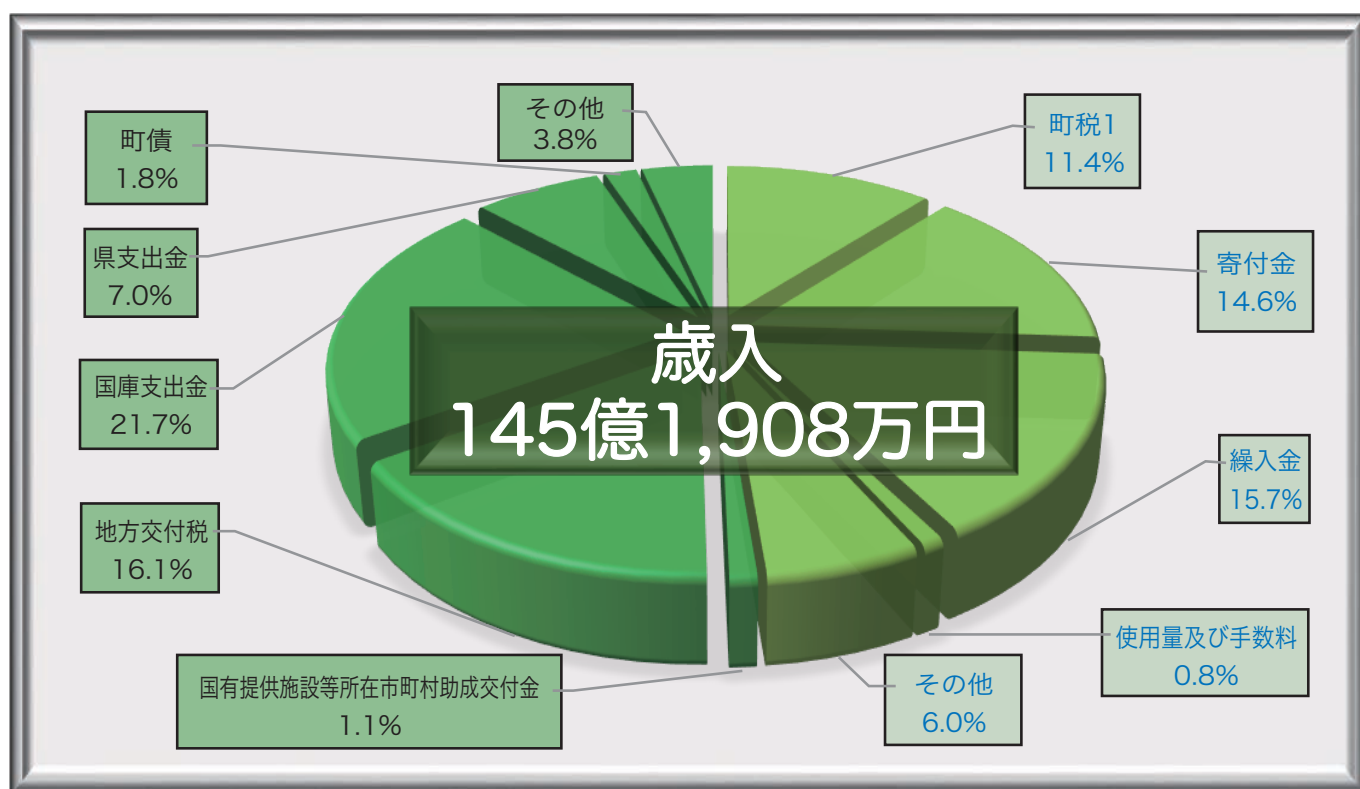
120号
2023年10月

9月定例会

- ・表紙「しんとみ駅前夜市」
- ・令和4年度決算
- ・令和5年度補正予算
- ・一般質問（6名が登壇）
- ・議案等の審議結果
- ・基地対策特別委員会報告他
- ・ピックアップ

一般会計決算を認定

令和4年度決算



依存財源(51.5%)

国庫支出金(21.7%) 31億4,571万9千円 事業財源として使い道が特定された 国から交付されるお金
地方交付税(16.1%) 23億3,465万8千円 国から財源不足状況に応じて分配されるもの
県支出金(7.0%) 10億971万1千円 事業財源として使い道が特定された県から交付されるお金
町債(1.8%) 2億5,850万9千円 大規模工事などの費用に充てるため国や県、 金融機関などから借り入れたお金
国有提供施設等所在市町村 助成交付金(1.1%) 1億5,452万8千円 基地に対する固定資産税に代わるもの
その他(3.8%) 5億6,674万1千円 地方譲与税、その他交付金

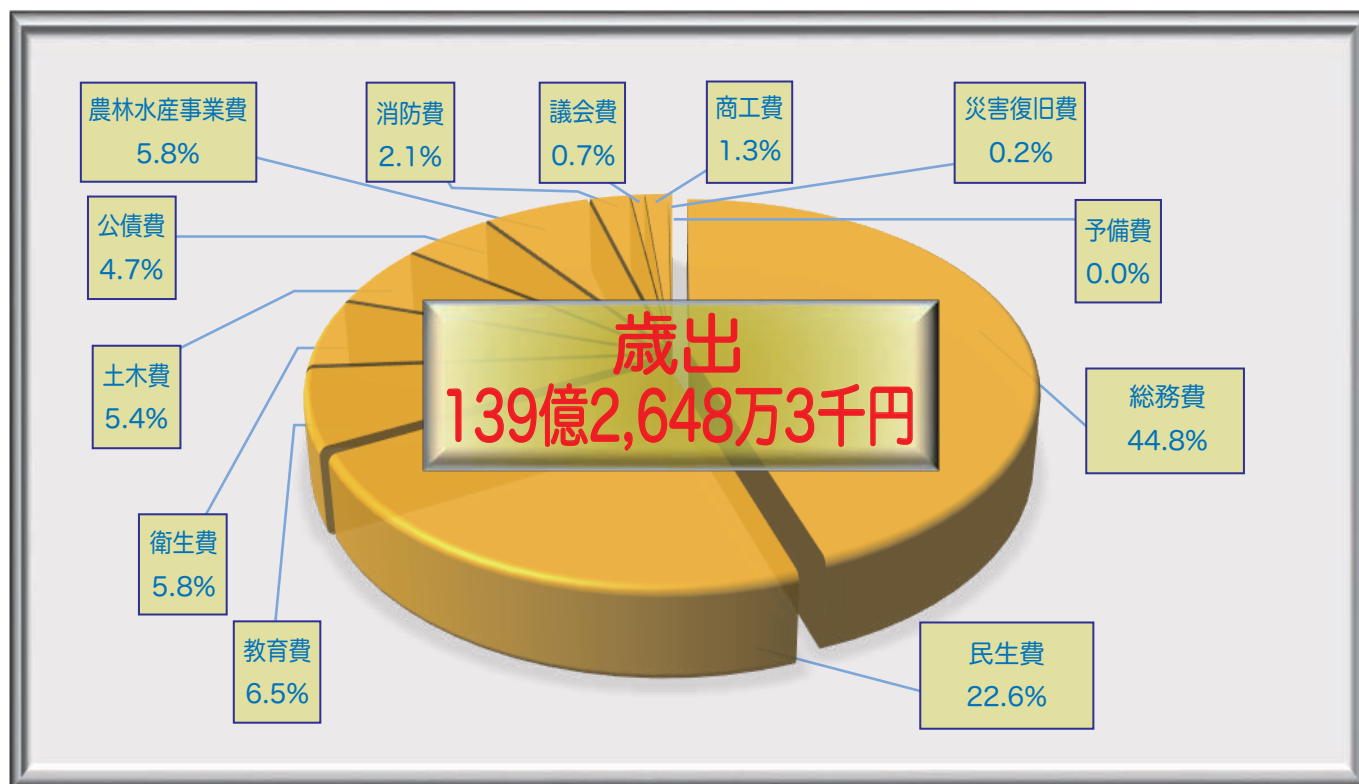
一般会計歳入合計 145億1,908万円

自主財源(48.5%)

繰入金(15.7%) 22億8,248万7千円 特別会計、基金からの繰り入れ
寄付金(14.6%) 21億2,514万円 ふるさと納税、企業版ふるさと納税
町税(11.4%) 16億4,983万6千円 町民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ税
使用料及び手数料(0.8%) 1億2,328万7千円 公共施設、町営住宅などの使用料、 各種証明証発行手数料など
その他(6.0%) 8億6,846万4千円 分担金及び負担金、財産収入、繰越金、諸収入

令和4年度新富町

令和4年度決算



一般会計歳出合計 139億2,648万3千円

総務費(44.8%)
62億3,699万3千円
 一般管理費(人件費など)、財産管理費(基金積立金など)、企画費(こゆ財団補助金、屋外運動場建設工事費など)、基地対策費、ほか

民生費(22.6%)
31億5,117万3千円
 社会福祉総務費、老人福祉費、児童福祉費(各種助成金・給付金、特別会計への繰出金など)人件費ほか

教育費(6.5%)
9億1,101万2千円
 教育総務費(人件費、備品購入費など)、小学校費、中学校費、社会教育費ほか

農林水産事業費(5.8%)
8億848万6千円
 農業振興費(各種補助金)、農地費(委託料、工事請負費、補助金など)、林業費、漁港管理費ほか

衛生費(5.8%)
8億605万7千円
 保健衛生総務費(人件費、西都児湯医療センター助成金、各種負担金など)、予防費(各種検診委託、予防接種委託、不妊治療助成金など)、清掃費(清掃総務費、塵芥処理、し尿処理関係)、温泉施設費など

土木費(5.4%)
7億4,624万9千円
 道路橋りょう費、河川費、都市計画費、住宅費(委託費、工事請負費、補償費など)

公債費(4.7%)
6億5,745万8千円
 借り入れたお金の返済に使われる費用

その他(4.4%)
6億905万5千円
 消防費(2.1%)、議会費(0.7%)、商工費(1.3%)、災害復旧費(0.2%)、予備費(0.0%)

令和4年度の新富町一般会計歳入歳出決算が黒字決算となりました。歳入総額145億1,908万円、歳出総額139億2,648万3千円で、差引収支は5億9,259万7千円、実質収支は3億9,608万4千円となっています。財政力指数は0.45で、経常収支比率は82.4%で前年度に比べて改善しました。歳入の構成比率では、町税が増収し、ふるさと納税も増額しました。歳出では義務的経費の減少と投資的経費の増加がありました。監査委員からは健全な財政であるとの報告がありました。

総務産業常任委員会

令和4年度特別会計・水道事業会計決算をそれぞれ認定

令和4年度新富町特別会計決算

国民健康保険特別会計

歳入 21億9,347万4千円
歳出 21億3,513万円

介護保険特別会計(保健事業勘定)

歳入 16億958万7千円
歳出 15億9,603万1千円

介護保険特別会計(介護サービス事業勘定)

歳入 711万4千円
歳出 228万5千円

後期高齢者医療特別会計

歳入 4億6,274万3千円
歳出 4億6,141万円

西都児湯情報公開・個人情報保護審査会特別会計

歳入 25万3千円
歳出 14万1千円

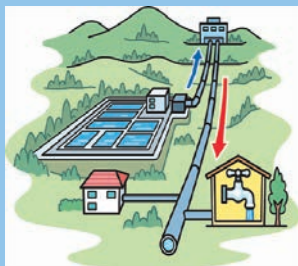
土地取得特別会計

歳入 1,034万7千円
歳出 1,003万1千円

令和4年度の決算報告では、国民健康保険特別会計の実質収支は5,834万4千円で微増。国民健康保険税の収納率は97.1%で改善され、健診の待ち時間も短縮されたとのことでした。介護保険特別会計（保険事業勘定）では要介護認定区分の重度者の減少や保険給付費の減少により、実質収支は1,355万6千円の黒字でした。後期高齢者医療特別会計では実質収支は133万3千円の黒字で、健康寿命延伸の取り組みを評価いたしました。介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）では実質収支は482万9千円の黒字で、今後要支援者の増加が見込まれるため、地域包括支援センターの強化を求めました。

文教厚生常任委員会

令和4年度 新富町水道事業会計決算



総収益 3億2,006万7千円
総費用 3億3,125万5千円
純損失 1,118万8千円



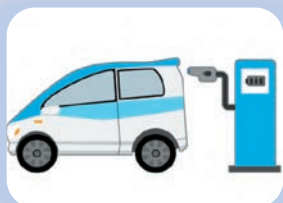
令和4年度の新富町水道事業会計決算は、純損失が1,118万8千円とのことでした。総配水量169万4,279立方メートル、有収水量152万2,293立方メートル、給水戸数5,896戸などの結果が報告されました。資本的収支の不足分は内部留保資金などで補填されています。

総務産業常任委員会

令和5年度 一般会計補正予算を可決

2億3,433万6千円を追加補正

取組み事業(一部抜粋)



急速充電設備整備事業(新規)

事業費 706万2千円

・公用車用急速充電器の設置費用



带状疱疹予防接種事業業務委託(新規)

事業費 282万8千円

・带状疱疹ワクチン接種費用の一部助成



新規就農育成総合対策事業(継続)

事業費 1,875万円

・新規就農者が施設園芸ハウスの新設等、購入に要する費用の補助



西体育館照明器具取替工事設計業務委託(新規)

事業費 321万8千円

・西体育館照明器具取替え工事のための設計費用



物価高騰等対策プレミアム付商品券等発行事業(新規)

事業費 4,410万7千円

・物価高騰対策として、S!あぶを活用したクーポンを配布



座論梅各種大会補助金(継続)

事業費 143万6千円

・座論梅各種大会を開催するための費用を補助



いまむらゆきのぶ

今村行信議員

町長

排水ポンプ車の導入の検討は

関係機関と連携して取り組む

関係機関と連携して取り組む

問 近年の異常気象の影響により内水面の浸水が想定される。今後の対応策として、排水ポンプ車の導入等について検討が必要であるのでは。

町長 近年の気候変動の影響により、浸水などの水害が頻発、激甚化が懸念され、流域全体の治水対策が必要と考えている。昨年の台風14号の際は、一ツ瀬川流域の瀬口・柳瀬地区で水位が上昇したため、国土交通省から排水ポンプ車一台を借り受け、内水の強制排水を行った。排水ポンプ車の活用を含め排水機場の整備、河川改修等、国・県・関係市町と連携して取り組んでいきたい。



排水ポンプ車の導入を

ごみ減量化の取り組みは

問 本町の可燃ごみ処理の状況は。

町長 令和2年度から塵芥中間受入施設に持ち込まれた剪定木を焼却処分から農業用チップ

化へと変更した。令和4年度からは、し尿処理施設から排出されるし渣及び学校給食残渣について、焼却処分から堆肥化施設へ搬入することで再資源化の適正処理に努めてきたところである。

問 生ごみの減量化、リサイクルの推進について町長の認識を伺う。

町長 生ごみの減量化は、無駄な生ごみを排出しない、食品ロスの削減が重要であると認識している。リサイクル率の向上は、あらゆる可能性を研究し、令和4年度に18・5%だったリサイクル率を令和8年度には25%を達成できるよう努力していく。

町有地の有効活用を

問 新麓住宅・新田学園テニスコート・成法寺住宅跡地を長い間放置することなく早急に有効活用に向けて欲しいが、町長の見解は。

町長 地域住民の意見等を伺いながら、地元地区の活性化に繋がるよう検討していく。

富田浜公園プールについて

問 来年度のプール施設は開園の方向で検討できないか。

町長 今後、改修工事費等の調査を行い、その調査の結果を踏まえ総合的に判断したうえで、来年度以降のプール施設開園については検討していきたい。



富田浜公園プールの再開を



新田学園テニスコートの現状



いしざきしゅんじ

石崎俊二議員

町長

高齢者専用

公営住宅の必要性は

様々な課題があるため
今後、協議・研究していきたい

問 高齢化がさらに進み、高

齢者のみの世帯や単身世帯も増えている。地域コミュニティから取り残されないよう、高齢者専用の集合住宅が今後必要になってくると思うが、町長の考えは。

町長 現在、65歳以上の高齢化率は約32%となっている。

なかでも高齢者のみの世帯や単身世帯が増加傾向にあるので、高齢者向けの公営住宅の必要性については十分認識をしている。しかし、バリアフリー化などのハード面だけでなく、高齢者向けのサービスなど、ソフト面での対応等、様々な課題が考えられるため、今後、関係機関と協議しながら研究していきたい。



老後は安心して暮らしたい

高齢者対策について

問 近年の雨の降り方が異常

で、この夏も台風の影響で線状降水帯が発生し、大雨となった。幸い大きな被害はなかったが、いつか大きな災害となる大雨が降る可能性は十分ありえる。特に高齢者の避難について町の対応は。

町長 避難行動に支援を必要とする「避難行動要支援者」に

については、現在作成途上では

あるが「個別避難計画」に基づく高齢者等の避難支援体制の構築を図っていくところである。先般の台風6号においては、河川水位の上昇に伴い、瀬口、柳瀬の2地区に対して「高齢者等避難」を発令。同地区において「個別避難計画」を活用した戸別訪問による状況確認や避難の呼びかけが事前に実施され、計画作成の効果が実感できるものとなった。

フットボールセンター

について

問 フットボールセンター開

業以来、夜間の利用や週末の試合等の開催など、賑わいを感じている。現在までの利用状況及び予約状況は。

町長 今年度5月から利用が

開始され、7月までに19097名、252件の利用実績があった。また予約については、8月から年度末までに301件の予約が入っており、土日祝日の利用はおおよそ埋

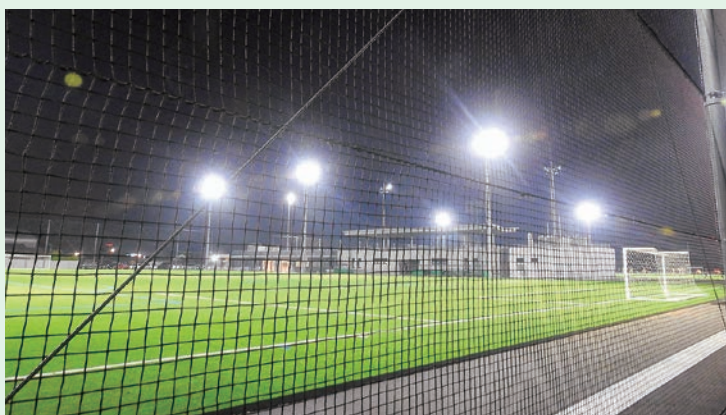
まっている状況である。

問 フットボールセンターの

利用者、いわゆる交流人口が増える中、今後の展開は。

町長 周辺施設も含めるとお

およそ1ヶ月で約1万人、1年間で約12万人の来場者が見込まれる。現在建設中の直売所が起爆剤になると思われるので、まずはそこからであり、それからどうやって波及していくのか、商工会等と協議していきたい。



平日は夜間利用が多いフットボールセンター



みうら ちひろ
三浦千尋議員

町長

スマートIC周辺開発の ロードマップは

理想とすべき姿を

具体化していく

問 周辺開発のロードマップを伺う。

町長 町としての理想とすべき姿を想像しながら、具体化させていきたい。また周辺住民の合意形成のためにも、声の集約を検討しながら進める。

問 企業進出が加速すると思うが、町独自の事業構想を伺う。

町長 現時点ではないが、地域の特性を活かし、住民サービスはもとより観光や商工、防災を念頭に検討したい。



均衡ある生活インフラ づくりについて

問 町民が平等に買物できる生活環境を望むがどのように考えているか。

町長 今年度中に総合交通計画を策定し次年度から更なる充実を図りたい。

問 町の経済指標で十数年前の小売吸引力指数は本町0・65程度、高鍋西都0・8、0・9、宮崎市1・4程度であった。傾向を伺う。

町長 平成26年0・35、28年0・29、令和3年では0・29で推移。町外での購買傾向が見られ、町内一店舗当たりの利益面格差の広がりの前触れだと認識している。

緊急時の町民の 安全確保は

安全確保は

問 町としての安全対策を伺う。

町長 国民保護法で定める基本方針に基づき、県との協議を踏まえ計画を定め、国民保護のための措置を実施することとされている。住民の生活関連施設の安全確保など、具体的な対策の議論が必要である。

戦争遺跡について

問 確認している箇所数と管理状況を伺う。

町長 掩体壕等遺跡が多数。防衛省、民有地それぞれ草刈り等適切に行われている。

問 「歴史的事実の考証のためにも保存を」とする将来への平和遺産と考えますが、町長の見解は。

町長 戦後78年が経過。未来世代に伝えるものとして当時の資料の活用も含め検討したい。

地場産品送料負担を

問 他町では送料を負担している。本町も半額を助成し生産者を守れないか。

町長 本町では令和2年度□ナ対策で地元農産物セットを親族等に送る際、送料無料の対策を実施した。



今も残る掩体壕
えんたいごう



いびかねひさ
揖斐兼久議員

町長

防衛省等への要望活動 の成果は

周辺整備調整交付金が
大幅な増額となった

問 7、8月に議会と要望活動を実施した。希望の持てる返事であったが、現在の状況は。

町長 大臣から住宅防音工事の限度額引き上げを速やかに伝達するように指示したこの話があった。また、その他の要望については、国から希望に添えるように努力すると回答を得た。令和5年度の調整交付金は過去最高額で前年度より約1億円増額となる。

問 要望活動を継続する必要があると思うが。

町長 今後も議会の理解と協力を願う。

日仏共同訓練について

問 7月に日仏共同訓練が行われた。町の受け止めと総括は。



日仏共同訓練視察

町長 仏空軍は航空機計4機、人員約120名が参加した。目的を達成し安全に終了したと報告を受けている。町は必要な訓練と認識しているが、安心安全と騒音対策が重要だと引き続き国に申し入れる。

防災危機管理について

問 台風6号接近に伴い町が実施した対応とその結果は。

町長 職員参集基準及び避難所開設要領を確認した。警報の伝達、自主避難所開設等の対応を実施した。

問 西都市との情報共有と伝達、樋門管理は適切にできたか。

町長 実施できた。関係機関との連携をさらに強化する。樋門管理は県に返上したい。

問 6月に行われた防災訓練の成果及び問題点は。

町長 臨時情報と情報発表後の対応要領の理解を深めた。今後は、優先業務の選定や物資、人員の配分要領についてさらに検討する。職員、町民を対象にした防災訓練により意識の高揚に努める。

マルシヨク跡地の再利用は

問 6月以降町民に知らせるべき進展はあるか。



富田浜プール再開を期待する

町長 知らせるべき進展はない。

富田浜公園周辺の整備は

問 国民スポーツ大会に向けての整備とプールの運営についてうかがう。

町長 国民スポーツ大会に向けて、漕艇場及びサッカー場を整備していく。プールは必要となる改修等の調査や、以前から困難となっていた運営受託先の確保について検討する。

問 早急に準備を開始して欲しい。

町長 しっかり調査し検討していく。



でぐちじゅうろう
出口喜重郎議員
町長

シエルトアの整備について

防災シエルトアは必要である

問 武力攻撃や災害に備えるためシエルトアの整備が必要ではないか。

町長 非常事態が発生した場合、町民の生命を保護するために必要な施設と考える。

問 国に財政支援と、設置に必要な基準の策定を要望していただきたい。

町長 政府は国家安全保障戦略で国民保護体制の強化を掲げ、整備予算についても編成する方針である。今後、国の動向を注視していく。

問 国民保護法に基づく町内の緊急一時避難施設は何力所か。

町長 直接の被害を軽減する一時的な施設として、県が指定している町内の施設は小中学校、体育館など13力所である。



生産年齢人口減少の対策は

問 少子高齢化が進む本町が生産年齢の推移は。

町長 本町の生産人口は令和2年が9千97人と減少傾向で推移している。

問 農業従事者の現況は。

町長 平均年齢は62歳、令和4年の新規就農者は3人である。



問 農業に労働力不足が生じている。外国人労働力受け入れの考えは。

町長 労働力を確保するという観点からすれば、外国人労働力は極めて重要であると認識している。

問 町が中心となって外国人労働力を直接受け入れる考えはないか。

町長 現在、民間団体が受け入れに関する活動を行っている。町主体で組織を作る計画はない。

今後の国の外国人実習生制度の見直しを含め動向を注視していく。

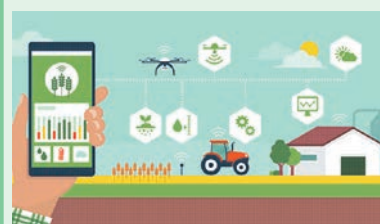
農業生産性の向上対策は

問 生産額が減少傾向にある中、生産性を増加させるためにどのような政策を考えているのか。

町長 農地の集約、大規模化、スマート農業の推進により生産性向上を図る。労働条件、労働環境改善や半農半Xなど、農業の働き方改革を進める。

問 担い手不足に伴う離農農地の活用対策は。

町長 担い手の減少により農地が適切に利用されなくなることに懸念されている。地域内外から幅広く農地の受け手を確保しつつ、農地中間管理事業を利用した農地の集約・集積化を進め、農地利用の最適化を計っていく。



すすむ、スマート農業



あまんせいろう
阿萬誠郎議員
町長

ストリートスポーツ広場の設置は

ニーズ等を確認し検討

問 富田浜公園など町有地を活用した「ストリートスポーツ広場」の設置は検討できないか。

町長 現在、各種施設の改修等を鋭意進めており、ニーズ等を確認しながら検討していく。



技の練習を楽しむ町内愛好者

防犯灯電気料の負担軽減は

問 自治会等の防犯灯に係る電気料金の負担軽減は。

町長 いろいろな検討が必要な時期。現在地区加入者も減少傾向にある。

今後、地区集会所の太陽光買電価格も減額となり、収益減が見込まれるため、負担となる電気代について、トータル的にエネルギー問題等、電気料対策を検討していきたい。

带状疱疹ワクチンについて

問 新規事業「带状疱疹ワクチン接種費用」の助成内容は。

町長 町内医療機関のうち、協力医療機関へ委託を行い、接種日時で、町内に住所を有す

る50歳以上の全ての方へ、1回あたり1万円を上限にワクチン費用を助成する。
助成回数は、それぞれ生ワクチン1回、不活化ワクチン2回を予定している。



ワクチン接種で早期予防を

公営住宅跡地の活用策は

問 成法寺住宅等跡地の利活用はいまだに計画の素案も見えない。町長の任期中に見える形にできるのか。

町長 現在、町内全ての公共施設を網羅して、どのような施設が必要なのか総合的に検討中。その計画の中で「まちづくり支援事業」として、何に取組むのがベストなのか、たたき台を作っているところである。今年度に全体の素案が

潜水橋の適正管理は

問 公共用財産である柳瀬潜水橋の老朽化状況と今後の維持管理方針は。

町長 柳瀬潜水橋は、道路法の規定に基づき、今年度、道路メンテナンス事業において法定点検を行うこととしており、その判定結果をもって、今後の維持管理方針を判断する予定である。



大量の流竹木で危険性上昇

できるので、来年度には、必要なものが示せるのではないかと考えている。

令和５年９月定例会 議案等の審議結果

番 号	件 名	結 果	
議案第45号	令和５年度新富町一般会計補正予算	可決	全員
議案第46号	令和５年度新富町国民健康保険特別会計補正予算	可決	全員
議案第47号	令和５年度新富町介護保険特別会計（保険事業勘定）補正予算	可決	全員
議案第48号	令和５年度新富町後期高齢者医療特別会計補正予算	可決	全員
議案第49号	令和５年度新富町介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）補正予算	可決	全員
議案第50号	令和４年度新富町水道事業会計剰余金の処分について	可決	全員
議案第51号	物品売買契約の締結について（令和５年度新田原飛行場関連再編関連特別事業新富町コミュニティバス）	可決	全員
議案第52号	工事請負契約の締結について（令和５年度防衛施設周辺障害防止事業大和ため池掘削工事）	可決	全員
議案第53号	財産の無償譲渡について	可決	全員
議案第54号	賃貸借契約の一部変更について（新富町ブロードバンド設備の賃貸借に関する契約）	可決	全員
議案第55号	業務委託契約の締結について（令和５年度新田原飛行場関連再編関連特別事業 新富町図書館図書システム整備事業）	可決	全員
承認第10号	専決処分の承認を求めることについて（令和５年度新富町一般会計補正予算）	承認	全員
認定第１号	令和４年度新富町一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	全員
認定第２号	令和４年度新富町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	全員
認定第３号	令和４年度新富町介護保険特別会計（介護サービス事業勘定）歳入歳出決算の認定について	認定	全員
認定第４号	令和４年度新富町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	全員
認定第５号	令和４年度西都児湯情報公開・個人情報保護審査会特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	全員
認定第６号	令和４年度新富町土地取得特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	全員
認定第７号	令和４年度新富町介護保険特別会計（保険事業勘定）歳入歳出決算の認定について	認定	全員
認定第８号	令和４年度新富町水道事業会計決算の認定について	認定	全員
報告第７号	専決処分の報告について（令和４年度富田小学校校舎防音機能復旧（空気調和設備取替）工事請負変更契約の締結について）	—	—
報告第８号	令和４年度新富町継続費精算報告書について（新富町一般会計）	—	—
報告第９号	令和４年度決算に基づく新富町財政健全化判断比率報告書について	—	—
報告第10号	令和４年度決算に基づく新富町水道事業資金不足比率報告書について	—	—
報告第11号	債権放棄の報告について	—	—
諮問第２号	人権擁護委員候補者の推薦に伴う意見を求めることについて	適任	全員
発議第３号	森林環境譲与税の譲与基準の見直しを求める意見書	可決	全員

国へ航空機騒音対策等の要望書提出

令和5年度の基地対策特別委員会要望活動を7月、8月に防衛省（熊本防衛支局、九州防衛局、防衛省、航空幕僚監部）・総務省に対して行いました。

今年は、すべての要望活動に小嶋町長も同行していただき、防衛省では、地元選出の江藤衆議院議員と長峯参議院議員にも同席いただきました。浜田防衛大臣への表敬訪問では、町長・議長・両代議士から新田原基地が所在する新富町の航空機騒音負担等、町の現状を直接、大臣へ伝えることができ、大臣からも国の責任で対応させていただくこと、又、要望のあった住宅防音工事の限度額見直しを速やかに進めるよう指示しているとの話を伺うことができました。

今回、国政の担当者と直接対話できたことにより、私たちの声をより具体的な要望として伝えることができたと思っております。

今後も執行部との連携を強め町の要望が国に対して、しっかりと受け止められるよう取り組んでまいります。



第3回 議員と語ろう会を開催

テーマ「将来戻ってきたいくなる新富町」

日時：12月26日(火曜日)18:00～20:00

会場：新富町総合交流センターきらり
大集会室

対象：町内在住の中高生30名募集します。

お問合せは議会事務局 0983-33-6139まで

《議会構成》 監査委員 議員選出 松浦美緒

まつりしんとみ 実行委員会

pick up

実行委員長の倉永佳祐さんに話を聞いてみました

なぜ、まつりしんとみを復活させようと思ったか？

過去のまつりしんとみが楽しかった思い出があります。コロナでイベントが減った今、子どもたちに楽しめる場を提供したい。子どもたちの笑顔のために復活を決意しました。

10月29日に町総合文化公園でお待ちしています。



くらなが けいすけ

会社員。「将来、子どもたちが町に戻ってきたいと思える祭りに」と立ち上がった。
新富町上富田で4人暮らし。38歳。

これまで準備している中で大変なことは？

気持ちが先走って手を付けたものの、裏方の仕事が山ほどあることがわかり、腰が重くなった時期も正直ありました(笑)。ただ、その不安も仲間が増えるにつれて減りました。

全員が「〇〇だからできない」ではなく「できるために〇〇しよう」という意識で、役割分担しながら楽しく準備を進めています。僕自身は楽しいことだけが頭に浮かび、みんなも“苦労”を経験として楽しんでいて、充実しています。



打ち合わせは深夜まで及ぶこともしばしば

町まちづくり審議会でプレゼンする倉永委員長



実行委員会の運営を通して感じたことは？

みんなで楽しいことをやっていこうという考えがもっと広がるといい。地元住民や元地域おこし協力隊、役場職員、地元紙の支局記者など職種や年齢関係なく、多くの人が協力しています。町内の催しが活性化し、子どもたちが愛着と誇りをもてる町になれば、新富町の未来はもっと楽しくなると思います。

あとがき

コロナ禍で開催が中止されていた新田神社夏祭りの夜祭りが4年ぶりに盛大に開催され、地域住民の多くが新田コミュニティセンターに集まりました。

新田神楽の奉納に始まり、催し物や露店で賑わった夜祭り、御神幸行列では猛暑の中、多くの人々の声援が飛び交いました。

2日間の夏祭りは、子どもや大人たちの笑顔があふれ、地域の絆を深める機会となり、参加者は心地よい夏の夜を満喫できたようです。

コロナの影響が残る中でも、このイベントは地域の活気を取り戻す一歩であり、これからも絶え間なく続くことを切に願うばかりです。

ゆきのぶ

議会広報特別委員会

委員長 羽田野 治
副委員長 小山 早苗
委員 今村 行信
松浦 美緒
石崎 俊二
揖斐 兼久

連絡先 議会事務局

03316139